

安全データ・シート (Safety Data Sheet)

Dr.Care suppress

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	Dr.Care suppress #20000 (ドクターケア サプレス #20000)
他の識別	亜塩素酸ナトリウム水溶液 (3.35%) CAS RN 7758-19-2 米国 Oxine® (FDA: 21CFR.173.1010/EPA: 9804-1)と同等品
原材料製造社名	Bio-Cide International, Inc.
住所	2650 Venture Drive Norman, OK 73069 U.S.A
輸入元	株式会社 BONDS
販売会社名	三陽株式会社
住所	〒552-0004 大阪市港区夕風2丁目16-9
電話番号他	TEL: 06-6536-8776 FAX: 06-6576-2151
推奨される使用法:	Dr.Care suppress #20000 は、静菌剤、防菌剤、消臭剤等として使用
改定日	2024年7月1日
発行整理番号	G164-SC 7004B

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分 5
	急性毒性 (経皮)	区分 5
	急性毒性 (吸入)	区分 5
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分 2B
	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 2
環境に対する有害性	水性環境有害性 (急性)	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示

(GHS JP)



注意喚起語

警告

危険有害性情報

眼の炎症を引き起こす可能性があります。経口摂取による長期又は反復暴露により、血液、脾臓、胃に損傷を引き起こす可能性があります。水生生物に毒性。

注意書

安全対策

取り扱い後は手をよく洗ってください。ミストやスプレーを吸い込まないでください。

応急措置

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗い流してください。コンタクトレンズがあれば取り外してください。簡単に行うことができます。すすぎを続けます。眼の炎症が続く場合。医師の診察を受けてください。気分が悪い場合は医師の診察を受けてください。

保管

元の容器にのみ保管してください。
物質の損傷を防ぐために、流出物を不燃性材料で吸収します。耐腐食性の容器に保管してください。
廃棄 内容物と容器は自治体の規制に従って廃棄してください。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別		混合物			
化学名又は一般名	化学式	CAS RN	官報公示整理番号		濃度又は濃度範囲
			化審法	安衛法	
水	H ₂ O	7732-18-5	JP		>90%
亜塩素酸ナトリウム	NaClO ₂	7758-19-2	(1)-238	(1)-238	3.35%

特定の化学的正体および/又は成分の正確な割合が指定されていない場合、その情報は企業秘密として保留されます。

4. 応急措置

吸入した場合	本製品が酸又は塩素と接触すると、二酸化塩素の蒸気が発生します。これらの蒸気を吸い込んだ場合は、新鮮な空気の中に移動させること。症状が悪化又は継続する場合は医師の診察・手当を受ける。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。皮膚の刺激が強なった場合又は続く場合は医師の診察・手当を受ける。汚染された衣服や靴は直ちに脱いで洗濯すること。
眼に入った場合	多量の水で最低 15 分間眼を洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外すことができる場合は外す。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察・手当を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。嘔吐を誘発しないでください。意識のない人には決して口から何かを与えないこと。症状が現れた場合は医師の診察・手当を受ける。
最も重要な兆候および症状	眼刺激。長期間の暴露により涙流、発赤、不快感が慢性的な症状として出る場合がある。
応急措置をする者の保護	気分がすぐれないときはアドバイスを求める。(可能ならばラベル「取説及び物性の表示」を見せる) 医師、看護師、救命士等に本製品の物性等について伝え、保護措置を処置してもらう。
医師に対する特別注意事項	一般的な処置及び症状にそった治療を行う。症状が遅れて出てくる場合があるので注意深く被災者の観察を続ける。

5. 火災時の措置

物質は燃えませんが、酸素の放出によって可燃性物質の燃焼を促進します。	
適切な消火剤	水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO ₂)。
使ってはならない消火剤	火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。酸性の物質、塩素系の物質。
特有の危険有害性	健康に有害なガスが生成されることがある。塩化水素ガス (HCl) とナトリウム酸化物 (NaO _x)。
特有の消火法	通常の消火手順を用いる。本製品の影響を受けたその他の物質の有害性を考慮する。
消火時の保護具	火災の際は自給式呼吸器及び全身保護衣を着用しなければならない。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項	関係者以外の立ち入りを禁止する。漏洩が発生している場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。
環境に対する注意事項	漏洩物を下水、水路、地面、河川等に放出してはならない。漏洩物が環境への影響が無いように注意する。すべての環境への流出問題に該当、管理又は監督する箇所へ通知する。
封じ込め及び浄化の方法・器材	本製品は水に混和性である。水路、地下道、地下又は密閉された場所への流出を防ぐ。 漏洩物を乾燥させて亜塩素酸ナトリウムが結晶質になるまで放置しないでください。乾燥亜塩素酸ナトリウムは強力な酸化剤であり、可燃性物質と接触すると火災の危険を引き起こす可能性があります。また、可燃物の紙やおがくずに給させてはいけない、砂やバーミキュライトなどの不燃性の吸収剤を使用して乾く前に吸収・回収します。漏洩物が乾燥した粉末の残留物は水で洗いがして取除きます。洗い流しに使用した水は砂やバーミキュライトなどの不燃性の吸収剤に吸収させて廃棄してください。また、回収した漏洩物は再利用しないこと。
地方自治体で特に許可されていない限り、本製品を雨水排水路、地表又は地下水源に流さないでください。	

7. 取扱い及び保管上の注意事項

扱い上の注意事項：

本製品はラベルに記載された用法に従って使用すること。皮膚や眼への接触を避ける。本製品の活性化によって発生する蒸気あるいはガスを吸い込まないように注意してください。
使用後は、機器・器具類および保護具類は上水にて十分に洗浄してください。
関係者以外の人および子供、動物を現場に近づけないようにすること。

保管上の注意事項：

酸、塩素、塩素化合物、次亜塩素酸塩(漂白剤)、有機溶剤、硫黄、亜硫酸化合物、リン、可燃物／引火性物質の混合接触を避け、清潔で風通しのよい乾燥した冷暗所にて保管してください。
使用しない時は、しっかりと容器のキャップを閉め、使用する時はこぼさないよう注意深く取り扱ってください。
木製床・パレット上での保管は推薦出来ません。保管又は処分によって水、食物、飼料を汚染させないように注意してください。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	設定されていない。
設備対策	適切な換気を行い、換気回数は状況に応じて実施すること。
保護具	
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	耐化学薬品性の手袋を着用すること。
眼の保護	眼を保護するための防沫ゴーグルを着用する。必要に応じてフルフェースのマスクを着用すること。
皮膚及び体の保護具	適切な顔面用保護具、衣類及び防護靴等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	透明～淡黄色の液体
臭い	若干の塩素臭
臭気閾値	データなし
pH	8.2 ～ 8.5
融点／凝固点	-1.72°C (28.9°F)
沸点、初沸点及び沸点範囲	100.5°C (213°F)
引火点	該当なし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	23.7 mmHg (25°C)
蒸気密度	0.02kg/m ³
比重（密度）	1.030 g/ml (20°C)
溶解性	混和性（水）
n-オクタノール／水分配係数	該当なし（混合物ではない）
自然発火温度	該当しない
分解温度	データなし
可燃性（固体、気体）	不燃性
蒸発速度	水と同等
粘度	0.6409mm ² /秒

10. 安定性及び反応

安定性	常温常圧において安定。
危険有害反応可能性	酸又は塩素と接触すると、二酸化塩素ガス（ClO ₂ ）が発生する可能性があります。
避けるべき条件	熱、炎、火花、その他の発火源を避けてください。蒸発による乾燥を避けてください。乾燥した物質は、可燃物と接触すると発火する可能性があります。異物の混入を避けてください。日光や紫外線を避けてください。
混触危険物質	酸、還元剤、可燃性物質、酸化剤、次亜塩素酸塩、有機溶剤および化合物、生ゴミ、土、有機材料、家庭用品、化学薬品、石鹼製品、塗料製品、酢、飲料、油、松油、汚れた雑巾、硫黄を含むゴム、その他の異物
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路:

経口	分類されていませんが、飲み込むと胃腸管を刺激します。
皮膚	分類されていませんが、人によっては軽度の皮膚刺激を引き起こす可能性があります。
吸入	分類されていませんが、軽度の呼吸器症状を引き起こす可能性があります。

眼に入った場合	中程度の可逆的な眼刺激を引き起こす可能性があります。
急性毒性	
経口	LD50 >2000mg/kg
経皮	LD50 >2000mg/kg
吸入	LC50 >5mg/L 4 時間の暴露 (ATE)
重篤な眼損傷/眼刺激性	中程度の眼刺激を引き起こす。
呼吸器感作性	呼吸器感作物質ではない。
皮膚感作性	本製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。
特定標的臓器毒性・単回暴露	分類されていません。
特定標的臓器毒性・反復暴露	経口摂取による長期又は反復暴露により、血液、脾臓、胃に損傷を引き起こす可能性があります。
生殖毒性	分類されていません。
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製剤中 0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
発がん性	IARC：(Group3：人に対する発がん性について分類できない) NITE：区分に該当しない CAS No.7758-19-2 (含有率=91%)

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	有毒
水生環境慢性有害性	有毒
残留性・分解性	残留性なし・分解性あり
生体蓄積性	なし
土壌中の移動性	本製品は水に混和性がある。

13. 廃棄上の注意

製品の廃棄	本製品の使用により生じた廃棄物は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
容器の処分	容器は他の製品の再利用又は補充には使用しない。利用可能な場合はリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
リサイクルの場合	適切な再調整のために使用する場合、容器を3回洗浄又は同等の処理後速やかに空にする。三回洗浄は以下の通り：装置又は混合タンクに入れ、容器を空にする。容器の1/4、水を入れる。元通り栓を閉める。容器の一方の先端の栓をして、少なくとも30秒間完全に水を回転させる。容器を逆さにして、片側を上し、前後に数回傾ける。アプリケーション機器又は処分のための混合タンクにすぎ液を移し容器を空にする。このプロセスをさらに2回繰り返す。

14. 輸送上の注意

国際規則

MARITIME TRANSPORT (IMDG)

IMDG: Not regulated for transport.

AIR TRANSPORT (ICAO/IATA)

IATA: Not regulated for transport.

国内規則

陸上規制情報

該当しない

緊急応急処置指針番号

154

15. 適用法令

労働安全衛生法（厚生労働省）

該当しない

労働基準法

該当しない

毒物及び劇物取締法（厚生労働省）

特定劇物

該当しない

毒物

該当しない

劇物

該当しない 亜塩素酸ナトリウム及びこれを含有する製剤。
但し、亜塩素酸ナトリウム 25%以下を含有するもの及び爆発物を除く。(第二条 1 の 2)

消防法

該当しない。

16. その他の情報

注意：本製品はその強い酸化力により、一般的なプラスチック容器による長期保存は破損のおそれがあります。このような事態を考慮して容器を厳選しておりますが、在庫管理を含め、保管に関しましては充分ご留意の程、よろしくお願い申し上げます。

本 SDS の内容は、発行時点において、情報が正確であると考えています。注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いおよび特殊な条件下で使用する場合は、用途・用法に適した安全対策およびその環境に応じた安全対策を実施の上ご利用ください。

含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証又は品質の仕様ではありません。本書に含まれる情報の使用に関連する責任も負わないものとします。本製品を使用する当事者は、本製品の仕様に関する法律、規則、又は規制をすべて確認する必要があります。

特定の目的又はその他の目的のために、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行われません。